

# フィールド風

(現場)からの

宮田守男

東京都知事選をはじめ選挙に関する話題が毎日続く。だが立候補者の思いが伝わってこない場面が多い。サンデー毎日編集長を務めた近藤勝重さんの著書

『話術いらずのコミュニケーション』に聞く人が深くうなずいてくれる。分かる・分かる、と思ってくれる大事な要素は「話の中心が明快、あれもこれもではなく、これだけは分かってほしい」という芯がある。理屈や説明よりエピソードが大事」のノウハウの記述に納得する人は多いはずだ。

0年に比べ約2倍に。九州に7年連続で大雨特別警報が発表され毎年のように災害が発生し、これまで以上に大雨に備えるよう呼び掛けた。大北地域も梅雨の時期の災害が発生しないことを願うばかりだ。

さいの花」は「あじさいは 雨にぬれて 悲しみを洗っている 美しく色を変えていく」と。色の移ろいからアジサイには心変わりしやすい人の意味だが、今は多様性の花のように好ましくも思える花

を考える事ができた。大町市での総会には、宮澤・奥村県議、大町市長、白馬・小谷村長、松川村副村長、白馬・小谷議会議長も来賓として出席。中国に進出した企業の地元として、中国からのインバウンドで

## お互いの価値観を意識しよう

各地からアジサイの話題が届く。八重咲くごとく」と繁栄や富のイメージを抱き、アジサイを逆さに吊るしておくとお金に不自由しないとの記憶がある人も多いはずだ。だが高田敏子さんの詩「あじ

理解しなくては国際化する社会で地域発展を続けて行くことは困難だ。中国に関心ある企業や中国からの誘客を希望する関係者にはぜひ。中国に国際化への情熱が会



北アルプス日中友好協会会長の福島信行氏。国際化への情熱が会員の運営を支えている